

科目名	開講時期	開講学年	必修/選択	単位	時間
基礎看護学実習	後期	2年	必須	2単位	90h
担当教員名	メールアドレス		オフィスアワー		
◎水野智子 須釜真由美	tomoko.mizuno@tohto.ac.jp mayumi.sugama@tohto.ac.jp		事前にご相談ください。		
授業の概要					
<p>対象の健康上の課題や問題を明らかにするために、看護過程を展開し、日常生活援助技術の実践を通して基礎的な看護能力を学ぶ。</p> <p>※この科目は看護師の実務経験のある教員による授業科目です。</p>					
キーワード	到達目標				
患者の理解 看護援助 日常生活援助 看護の役割 看護学生	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者を尊重して関わり、療養生活を送る患者を全人的に理解する。 2. 患者に提供されている看護援助の意味や必要性を知る。 3. 患者に必要な日常生活援助を見出し、計画・実施・評価する。 4. 医療の協働・連携について学び、看護の役割について考える。 5. 看護専門職を目指す学生としての責任を自覚し、看護学生として適切な態度や行動をとることができる。 				
学習内容					
<p>【実習方法】</p> <p>実習のすすめかた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習オリエンテーション ・1週目：学内（実習に向けた課題学習、看護技術の確認） 病院・病棟オリエンテーション 病棟実習 ・2週目：病棟実習 最終カンファレンス 学内（まとめ、教員との面接） <p>実習の詳細は、実習オリエンテーションで配布する「2026年度 基礎看護学実習 実習要項」を参照すること。</p>					
受講要件					
2年次前期までの看護専門科目群の必修科目を修得または修得見込みであること					
評価					
レポート	その他		合計		
80%	20%		100%		
教員からのメッセージ					
<p>基礎看護学実習では、療養をしている患者さんを受け持ち、学生であっても看護職者の立場でケアを行いません。皆さんが看護を受ける対象者と向かい、学生自ら看護行為を行うという過程で、看護実践能力は育まれていくもの</p>					

です。そのため皆さんにも、患者さんへの関わりに対しての責任が生じます。病院で目にするのは、看護の対象となる人の生活の一場にすぎませんが、その方にとっては人生の極めて重大な出来事に立ち会っていることを自覚して、臨んでください。皆さんが、実習を通して有意義な成果を得られるよう、教員と臨床の指導者が協力して、助言・指導にあたります。